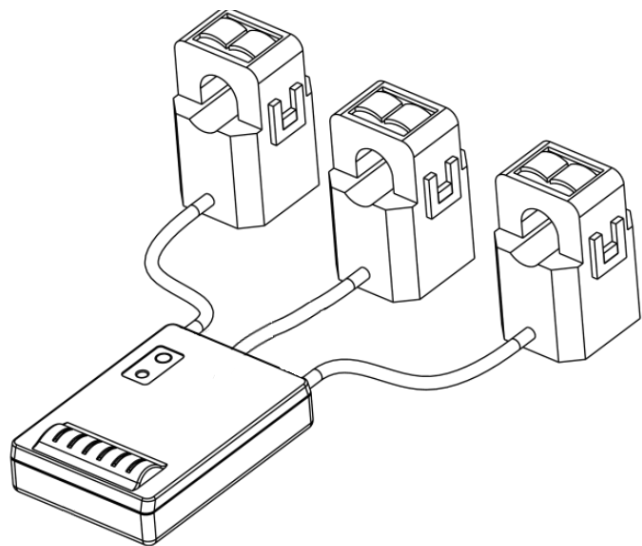




ユーザーガイド

3相クランプセンサ 200A 928 MHz用



ストックコード: **60.3PCT 200A 50/60HZ.928**

製品概要

プレサックの三相CTクランプセンサは交流電流値を各CTクランプが測定し無線出力するセンサです。CTクランプが取り付けられた測定点でセンサ駆動に必要なエネルギーを得、これにより電流値の測定、その測定値を30秒毎に送信します。定格電流は200A (50Hz 又は60Hz) で、被覆されたケーブルにCTクランプを挟み込むだけの簡単な作業で取り付けができます (特別な電気工事は必要ありません)。

特長と利点

- ケーブルに挟むだけの簡単な取り付け (電気工事や資格は設置不要) *
- 動作している機器の認識と電力量 (電流値) の測定
- エネルギーハーベスティングのため動作用電池は不要
- 市場実績に裏打ちされた無線通信技術の採用 (IEC/ISO 14543-3-10)
- EnOcean® 規格に完全準拠

*取り付け後も電源系統や使用機器の動作に支障は起こしません。

技術基準適合証明

200A 928 MHz 用 三相CTクランプセンサ

技術基準適合証明書についてはプレサック社 (下記住所) へお尋ねください。ご要望に応じ技術基準適合証明書のコピーも発行いたします。

Nottingham, March 2015	Pressac Communications
Robert Smith	145 Glaisdale Drive West
Technical Director	Nottingham
Pressac Communications	NG8 4GY



この製品は日本電波法に準拠し ARIB STD-108 の技術適合認証を取得しています。

廃棄方法

右のマーク (製品にも掲載) はこの製品が電機・電気機器であることを示しています。よって使用終了後に一般家庭廃棄物または商業廃棄物として廃棄しないでください。使用済み電機・電気機器 (WEEE) 指令 (2002/96/EC) に基づき、環境への影響を最小限に留めるため、最良の再生法を用いてリサイクルを行い、有害危険物質は埋め立て処分をできる限り避け、適切に処理させなければなりません。



操作及び設定方法

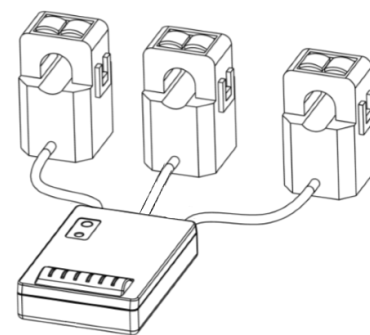
下記の2つの操作方法を確認後ご使用開始下さい。

1. 自動登録法 (Learn ボタンを押す)

導線の電流よりエナジーハーベスティングを行い動作するセンサの為、登録を行い動作を開始させるにも3つのクランプに2A以上の電流 (三合計で最低2A) を必要とします。2A以上の電流がある条件で、各クランプを導線に挟み込みその状態で30秒おいてください。この30秒後にLEDが点滅し、三相CTクランプセンサが動作を始めます。その状態で適切な工具 (非金属、非導体の素材で鋭利なもの) でセンサ本体下部にあるLearnボタンを押して下さい。

2. マニュアル登録

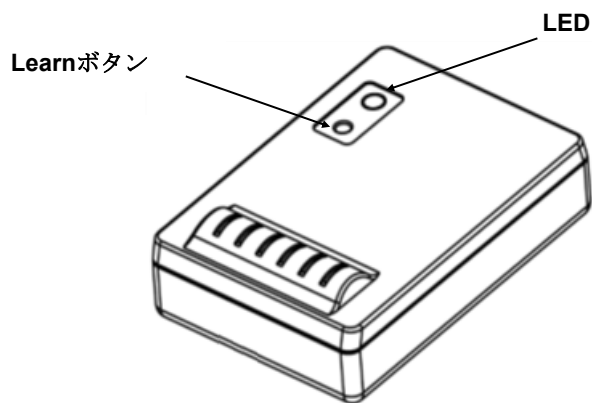
その他の方法として、このセンサユニットはお手持ちの EnOcean® ネットワークへマニュアル操作で稼働を開始することも可能です。これを行うためには、製品ラベルに記されているこのセンサの ID と EnOcean® 機器プロファイル (EEP) が必要です。



電流を正しく計測するには、クランプ内部フェライト部分が確実にまた均一に接触する様にケーブルに挟み込んでください。常設で長期的に使用される場合は、結束バンドを用いて機器を導線部に固定することも可能です。

設置・動作開始後電流値は30秒で5回計測され、その平均計測値が30秒毎に送信されます。電流値合計が2A以下の場合はEnOcean® テレグラム (電流値などの情報) を送信・レポートすることはできません。

この機器はEnOcean® STM400Jモジュールを無線データ通信に使用し、下記のEnOcean® 機器プロファイル (EEP) はD2-32-02でセンサ本体のラベルに掲示してあります。



製品仕様

1相あたりの測定範囲	2A-200A
測定周波数	50 or 60Hz
分解能	+/- 1% FSD
送信間隔	30秒
送信値	各CTクランプでの測定値A
リピーター機能	非対応
設置環境	屋内
筐体素材	ナイロン66
サンプリング方法	30秒で5回測定、平均値を送信
テレグラム	VLD
キャリブレーション	不要
使用時温度・湿度範囲	-5°C to +40°C; 85% RH
保管時温度・湿度範囲	-20°C to +55°C; 85% RH
測定可能なケーブル直径	24mm 以下
クランプ部寸法	約35mm x 45mm x 65mm
メインユニット部寸法	約42mm x 62mm x 16mm
EEP	D2-32-02

無線通信に関するガイドライン

電波遮蔽を起す妨害物のない一般的な建物環境では、通信範囲は通常30m (LoS) ですが、屋内では通信距離に影響を与える要素が多々存在することにご留意ください。通信距離を縮小し得る素材については下表をご参照ください。

更に信号品質は、電波が障害物を通り抜ける角度にもより多少の影響を受けます。通信を妨げるものがある場合、障害物に対してできるだけ垂直になるようセンサ及び通信機器を設置してください。

通信距離を縮小し得る材料	縮小率
木、乾式壁、表面金属加工がなされていない硝子	0-10%
レンガ、石膏ボード	5-35%
金属、コンクリート、鏡	10-90%

メンテナンス

製品の受領・開梱と同時に配送によるダメージの有無を確認してください。明らかなダメージがある場合、または製品仕様に応じた操作が出来ない場合は、販売代理店又はプレサック社へご連絡ください。この機器の製品寿命を維持するためには、各クランプ内部フェライト材表面を付属のアルコールシートで拭き、清潔に保つことが重要です。これにより導線部を挟み込んだ際にフェライト表面が密着し、機器を正しく取り付けることができます。この表面部が確実に接触していない場合は、不本意な読み込みが計測・報告される不具合が生じます。機器が正常に作動しない場合は、販売代理店またはプレサック社へご連絡ください。プレサック社ウェブサイトにて返品の規定に関する情報も掲載しております。

会社概要、製品、サービス等の詳細は下記プレサック社ウェブサイトをご覧ください。

www.pressac.com